

ALL TAKAMORI is for CHILDREN 第72号



～学校支援地域本部は地域に作られた学校の応援団です～

2022年2月22日

北京冬季五輪が20日に閉会しました。いつのオリンピックも様々なドラマがあり、選手の皆さんから大きな感動を与えていただきます。羽生結弦選手の「報われる努力があり、報われない努力がある」という言葉に象徴されるように、4年に一度のこの一瞬に自分の持っている全てを出し切ることが本当に難しく、だからこそ尊く、結果が出なくても挑戦することが価値のあるものだという事をあらためて教えてもらえた大会でした。

そして、違う国の選手同士がお互いの健闘をたたえ合い、慰めあう姿に、今起きている世界的パンデミックにも世界中で手を取り合って乗り越えて欲しい、と強く願いました。春が来るまでもう少し、世界中の春も早く訪れてくれることを願っています。

2/19 令和3年度 第2回地域コーディネーターリーダー研修会

仙台市教育局生涯学習支援センター主催・仙台市教育局学びの連携推進室、仙台市教育局生涯学習課共催の「地域コーディネーター研修会」は、当初、生涯学習センター体育館での開催を予定されていましたが、新型コロナウイルス感染者増加の為、オンラインでの開催となりました。生涯学習支援センターでは、子どもを育む地域力を高める視点に立ち、学校や地域とのネットワークの形成や地域内のコミュニケーションの活性化に向け、地域の核として活動する人材を育成する事業を実施しています。

今回の研修会では、ご依頼をいただき、仙台版コミュニティスクールの事例発表として、阿部校長先生と一緒に高森小学校のこれまでの取組を発表させていただきました。泉区では高森小学校が一番にスタートしているので、立ち上げ準備をされている皆様への参考にしていただければ嬉しいです。発表の後に、地域コーディネーターリーダー研修アドバイザーの野澤令照先生（宮城教育大学 学長付特任教授）より講評をいただきました。高森小の取組を沢山褒め頂き、あらためて地域と学校との良い関係が子供たちの力になることを認識致しました。録画した動画はYouTube「仙台市市民センターチャンネル」上で2月末から限定公開されるそうです。



高森小コミュニティスクールのオリジナル『しゃべり亭』が評価されています。

子どもたちを真ん中にして学校と地域と家庭のお互いの関係づくりが、今、求められています。子どもたちにとって、地域に知っている大人がいること、見守ってくれる人がいるということは、大きな安心につながります。

地域と子どもたちとの様々な繋がりを生み出しながら、地域全体で子どもたちを見守り、育んでいけますよう、引き続き、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

1/20 高森東連合町内会 夜間照明訓練・備蓄倉庫の点検

高森東連合町内会の各会長・副会長、防災担当役員、高森東小教職員、児童が参加して訓練・点検を行いました。

震災は昼夜問わずに起きるので、夜間訓練も必要です。今回は夜間訓練の準備として照明機器の確認と満杯になっている備蓄倉庫の整理を行いました。東小すこぼら隊の5、6年児童が備蓄食料の水やお粥、アルファ米等を体育館の2階の運んでくれました。

防災に対する意識を高め、日頃の備えが大事です。すこぼら隊の児童が大活躍でした。



2/14 「ぼうさい・げんさいクイズ」高森児童センター・高森東児童センター

仙台市女性防災ネットワーク泉さんが作成したクイズを高森児童センター・東児童センターで児童がクイズに挑戦しています。2/14～・2/21～・2/28～と出題は3週間にわたります。両児童センター同時開催です。「いえにいるとき、大きなじしんがおこったらどうする？」「がっこうにいるとき、おこったら？」「かぞくで、ひなんするときのもちものは？」「きゅうきゅうしゃやしょうぼうしゃをよぶときのでんわばんごうは？」など。

クイズを楽しみながら、防災について学べていいですね。参加賞はそれぞれの児童センター子育て支援クラブが協賛してくれるそうです。



高森中学校区学校支援地域本部発行の広報誌「ALL TAKAMORI is for CHILDREN」は毎月末に発行し、高森小・高森東小の全ご家庭と地域回覧で皆様にお届けしています。高森中・高森小・高森東小ホームページ「お便りコーナー」からもご覧いただけます。



高森中学校区学校支援地域本部

スーパーバイザー 横山倫子 080-5228-2729